私たちの生命は本来、自然の中にあります。自然のゆりかごのもとで生まれ育つこと、それは子どもたちの本来の姿であるべきです。子どもたちの生涯の土台を育むうえで、豊かな自然環境が不可欠です。

設立趣旨

近年の環境の変化は、子どもの育ちにさまざまなゆがみを生じさせています。子どもの健やかな育ちにとって、自然との触れ合いは不可欠です。自然の中で、さまざまないのちに出会い、世界の手触りを直接に感じることは、驚きや喜びに満ちた豊かな生の扉を開きます。自然の厳しさを前に仲間とともに過ごし、自分の可能性を信じることで、自分の存在を肯定し、多様な考えを持つ他者を認めることができるようになることでしょう。自然の中で子どもが自ら世界に働きかけ探究していく傍らには、それを見守る大人の存在が不可欠です。
2015 年 11 月 1 日創設の「日本自然保育学会」は、子どもの健やかな育ちのために、自然環境や地域資源を活用する保育・幼児教育の普及をめざす学際的な学会です。

役員一覧

（敬称略・50 音順） 2019 年 1 月 1 日現在

会　長　上原貴夫　　**副会長**　碓井幸子

《理　事》
上原貴夫　上田女子短期大学教授
碓井幸子　清泉女学院短期大学教授
内田明子　学校法人飯綱学園こどもの森幼稚園園長
木戸啓絵　聖徳学園大学短期大学部専任講師
小菅江美　NPO法人緑とくらしの学校
　　森のようちえんてくてく理事長
小林成親　NPO法人山の遊び舎はらぺこ理事
荘司泰弘　常磐会学園大学教授
杉山浩之　広島文教女子大学教授
新美亮介　望月少年自然の家指導員、社会福祉士
早川和宏　望月少年自然の家指導員
森　美文　森環境教育事務所代表
　　NPO法人自然体験活動推進協議会（CONE）
　　指導者委員長
山口美和　上越教育大学准教授

《評議員》
安達仁美　信州大学教育学部助教
飯沼佳子　学校法人青い鳥学園松本青い鳥幼稚園園長
内田幸一　森のようちえん全国ネットワーク運営委員長
大森けい子　学校法人福島学園みすず幼稚園名誉園長
笠原千鶴留　社会福祉法人 恵信会 ときわ保育園園長
木俣知大　国土緑化推進機構　政策企画部
高柳充利　信州大学教育学部准教授
櫛島隼人　NPO法人あかぎの森ようちえん理事長
伏木久始　信州大学教育学部教授
室井修一　国立磐梯青少年交流の家
　　事業推進室長兼事業推進係長
依田敬子　NPO法人響育の山里くじら雲代表兼保育者
渡邉宣明　静岡県藤枝市立小学校教諭

《監事》
中島　豊　長野大学教授
松下妙子　NPO法人ふじみ子育てネットワーク 野外保育
　　森の家ぽっち理事長

日本自然保育学会 事務局

〒386-1214 長野県上田市下之郷乙 620
上田女子短期大学幼児教育学科　気付

電話 0268-38-2352（代表）　Fax 0268-38-7315
e-mail: shizenhoiku@gmail.com
学会HP：https://shizenhoiku.jimdo.com/

JSECECN
日本自然保育学会

日本自然保育学会

ご案内

「自然保育」のあゆみ

自然の中での体験を中心とする幼児期の教育として、北欧を発祥とする「森のムッレ」や、ドイツの「森の幼稚園（Waldkindergarten）」の実践があります。

わが国では、およそ 30 年ほど前から、「野外保育」や「森のようちえん」という形態の幼児教育が始まりました。これらの実践では、子どもたちは一日のほとんどを野外で過ごし、自然物を使って創意工夫してあそんでいます。また、わが国では、既存の幼稚園や保育園の保育内容の中にも、ごく普通に自然や季節を感じる活動が取り入れられています。四季の移り変わりが感じられる日本の気候や風土は、自然の美しさや不思議さを存分に味わうことができ、子育てや保育にとって素晴らしい環境であるといえます。

自然の中での子どもの主体的な活動を保障することは、子どもの自己肯定感を育みます。

「自然保育」とは？

自然環境や地域文化を活用し、子どもたちの直接的な体験を大切にする保育・幼児教育を指します。

平成27年度、長野県では「信州型自然保育認定制度」が、鳥取県でも「とっとり森・里山等自然保育認証制度」が創設されました。森や山、川、里山などでの活動をとおして豊かな学びが得られる「自然保育」は、全国的に注目を集めています。

日本自然保育学会はこんな学会です

■「自然保育」に関心を持つ保育実践者、研究者、保護者や、「自然保育」を推進する各種団体や自治体など、多様な立場の関係者の方々が交流し、それぞれの知見を蓄積していく知のプラットフォームです。

■「自然保育」の意義を明らかにするために、「実践」と「学術」の両面からアプローチします。

■「自然保育」に携わる人材育成のための研修プログラムの開発をめざします。

あなたも仲間になりませんか？

「自然保育」に関心のある方なら、どなたでもご入会いただけます。

入会すると…

■年１回刊行される学会誌及びニューズレターが購読できます。

■年次大会での発表や、学会誌への投稿ができます。

■「自然保育」に関連する研修の情報などが受け取れます。

年会費：（入会金はありません）

- 個人会員　3,000 円
- 団体会員　10,000 円
- 賛助会員　1 口　5,000 円（企業は 10 口以上）

入会のお申込み：

- 学会へのご入会を希望される方は、学会事務局のアドレスに入会したい旨をメールでお送りください。折り返し事務局より入会申込書をお送りいたします。

事務局メールアドレス

shizenhoiku@gmail.com

学会の活動については以下をご参照ください。

https://shizenhoiku.jimdo.com/